寺院資料調査の実際

～佛法紹隆寺蔵書を題材に～

信州大学附属図書館　鈴木映梨香

仏法紹隆寺HPより
（http://sky.geocities.jp/inpara06/）

このスライドの要旨

1．お寺はMLAの宝庫

・佛法紹隆寺の基礎情報
・資料からみる佛法紹隆寺

2．寺院資料調査のプロセス

・佛法紹隆寺調査の概要
・調査の流れと作業内容

1．お寺はMLAの宝庫

・佛法紹隆寺の基礎情報
・資料からみる佛法紹隆寺

佛法紹隆寺の基礎情報

名称：鼈澤山佛法紹隆寺（仏法寺）
（べったくさん　ぶっぽうしょうりゅうじ）

開基：大同元年（806）
坂上田村麻呂

開山：空海

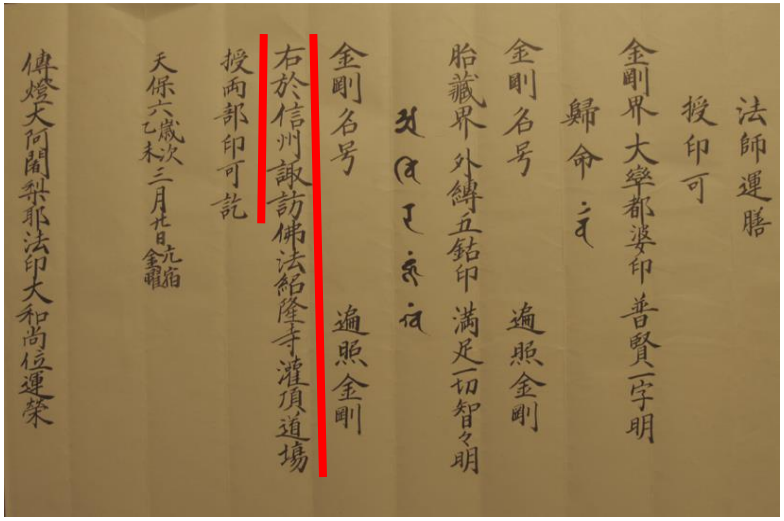
宗派：真言宗

坂上田村麻呂（新日本古典籍総合データベース『百人武将伝』
https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200004934/viewer/14）

室町時代　真言宗の学問所

室町時代頃から、仏法寺は、お坊さんになるための学問や修行をする場であった。その役割のために、多くの和古書が集積している。

さらに、江戸時代には、本山である醍醐寺から灌頂道場（お坊さんになるため等の儀式の場）となる許可を得る。



『授印可』天保6（1835）

江戸時代①　諏訪大社の社務

仏法寺は、諏訪大社（上社）の事務を担う役も務めていた。

廃仏毀釈の際には、諏訪大社神宮寺（神社に付属して置かれた寺院）など多くの堂塔が取りつぶされてしまう。

その際、仏法寺に運ばれた諏訪大明神本地普賢菩薩像などが現在も普賢堂に安置されている。

諏訪大明神本地普賢菩薩像

江戸時代②　高島藩の祈祷寺院

仏法寺は、江戸時代、諏訪の地を治める高島藩（藩主：諏訪家）と密接な関係を築いていた。

現在、仏法寺が主に用いている梶の葉の紋は、高島藩主諏訪家の家紋である。

藩主の命により高島城から移転した聖天堂では、毎年９月に祈祷が行われている。

諏訪高島藩祈願寺紋

藩主守護仏大聖歓喜天

MLAの宝庫

絹本着色怒天神画

藩主什器

絹本着色釈迦三尊十六善神画
（長野県宝）三幅のうち中幅

佛法紹隆寺由緒書

普賢菩薩騎象像（長野県宝）

伝運慶作不動明王像（長野県宝）

2. 寺院資料調査のプロセス

- 佛法紹隆寺調査の概要
- 調査の流れと作業内容

佛法紹隆寺調査の概要

調査開始：2003年5月（現在16年目）

調査方法：悉皆調査（ジャンルを限定せず
すべての所蔵資料を対象とする）

参加者：信州大学日本文学分野の学生
を中心に、日本語学・日本史学
などの学生、OB・OGほか

※古文書は「仏法紹隆寺歴史研究会」が中心に調査を進めている

これまでの成果

◆2500点に及ぶ蔵書数

◆室町時代後期～昭和戦前の蔵書形成

◆加行（真言宗の僧がはじめに習うお祈り）や次第（お祈りの手順を記した作法書）などの仏書が中心。ただし、漢籍類にも什仏印が押され、寺の「蔵書」として認めるほか、住職以外の僧侶の印信（教えを授かった証明書）などの私物も、多数残されている。また、明治以降の書物（『源氏物語』や謡本なども含む）も多い。

調査の流れ

①蔵開き・虫干し
②仮番号の挿入
③書誌カードをとる
④書誌情報の電子化
⑤目録の作成
⑥蔵書票を貼る
⑦文化財登録
⑧調査データの公開

①蔵開き・虫干し

資料の状態を把握するため
蔵から出して1点ずつ風を通す

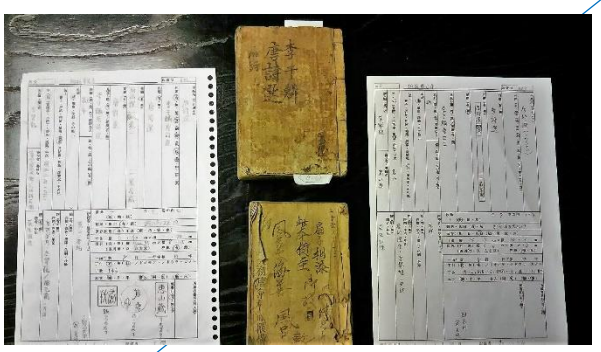
資料の判別、
点数確認のため
中性紙の付箋を挟む

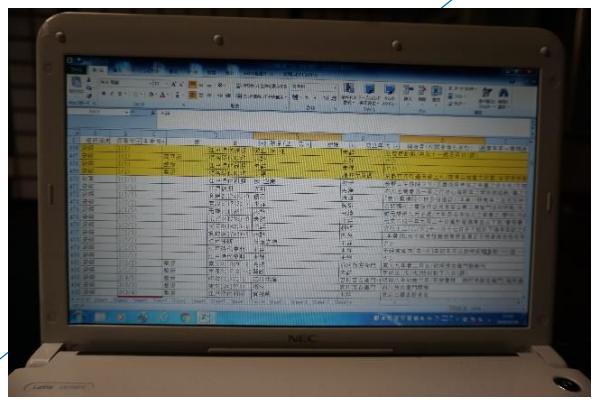
②仮番号の挿入

③書誌カードをとる

書誌情報を記録するため

現物と既知の情報を
照合しつつ記入する





書誌情報を計量するため

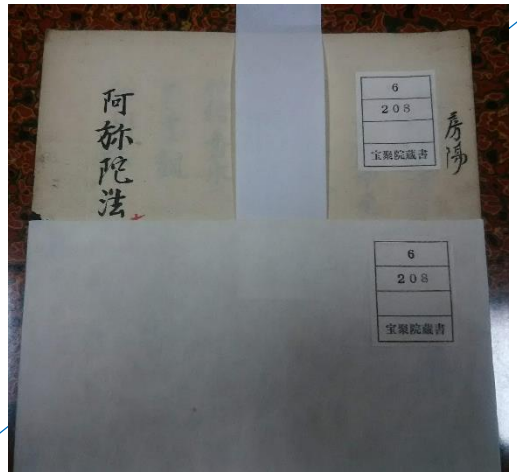
書誌カードから情報を
抜粋しExcelに入力する

④書誌情報の電子化

⑤目録の作成

書誌情報を一覧するため

Excel上で資料の成立年・内容・
用途・形状などにより並べ替える



資料の管理のため

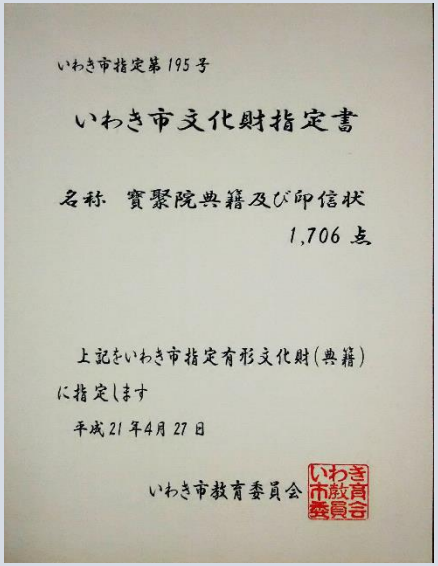
目録に従って資料を
並べ替え、蔵書票を貼る

⑥蔵書票を貼る

⑦文化財登録

資料の文化財的価値を認めてもらい、
保存環境を向上させるため

目録をもとに申請する


いわき市指定第195号

いわき市文化財指定書

名称　寶聚院典籍及び印信状

1,706点

上記をいわき市指定有形文化財(典籍)に指定します

平成21年4月27日

いわき市教育委員会

いわき市文化財指定書
（福島県いわき市宝聚院）

日本近世山岳関係データベース
http://www-moaej.shinshu-u.ac.jp/

松本女子師範学校郷土資料・
多湖文書データベース
http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/eddb/

資料の活用のため

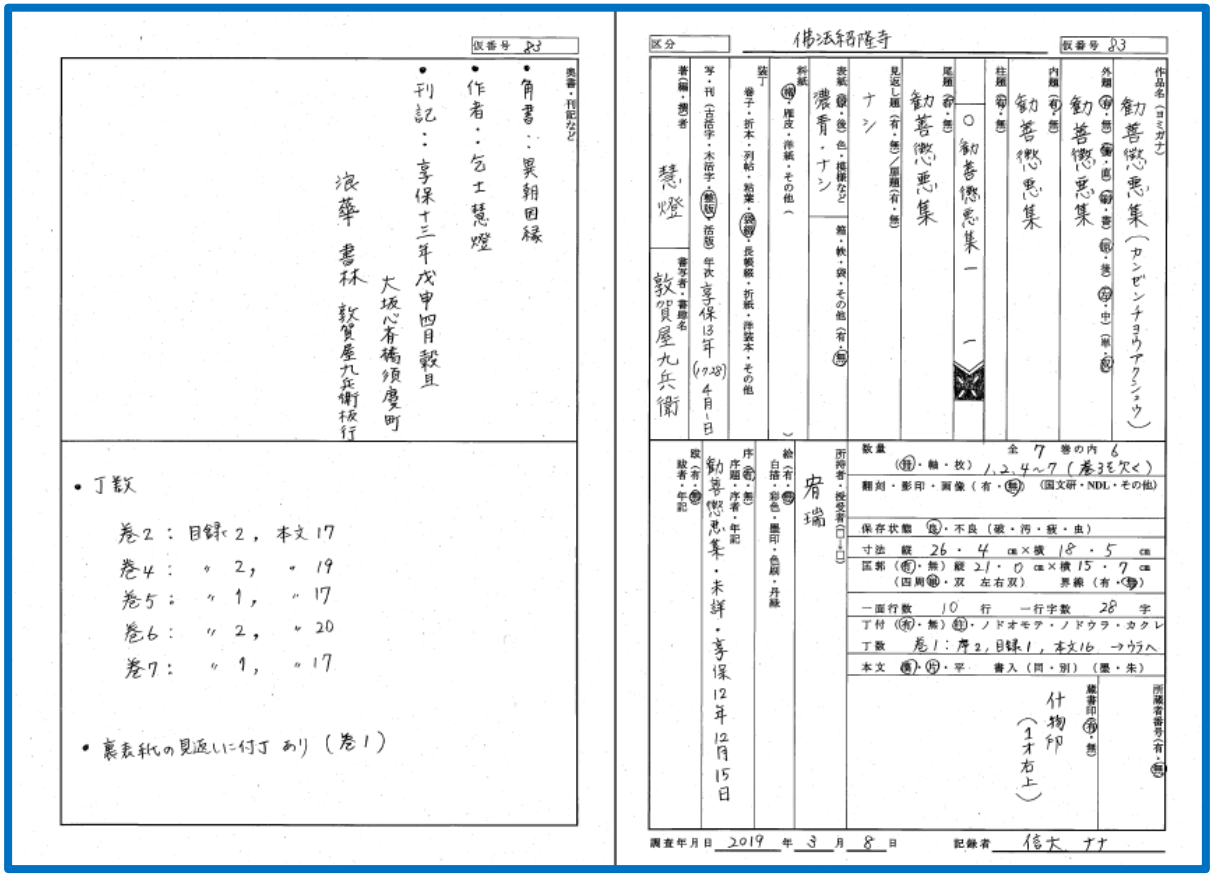
目録・画像を電子化して共有する

⑧調査データの公開

体験していただく作業

①蔵開き・虫干し
②仮番号の挿入
③書誌カードをとる
④書誌情報の電子化
⑤目録の作成
⑥蔵書票を貼る
⑦文化財登録
⑧調査データの公開

作品名・題名・料紙・装丁・数量・成立年代・写刊・著者・書写者・出版者・寸法・所持者などの項目を手書きで カードに記録する



よく使うツール①

・日本古典籍総合目録データベース

(http://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/)

他館所蔵の有無を調べ、書誌情報や画像を参照する。

・SAT大正新脩大蔵経テキストデータベース

(http://21dzk.l.u-tokyo.ac.jp/SAT/)

経典を集めた叢書『大正新脩大藏經』の全テキストを
データベース化。旧字・新字いずれでも全文検索が可能。

・全国漢籍データベース

(http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kanseki)

他館所蔵の有無を調べ、書誌情報を参照する 。

・CiNii Books(https://ci.nii.ac.jp/books/)

他館所蔵の有無を調べ、書誌情報を参照する。

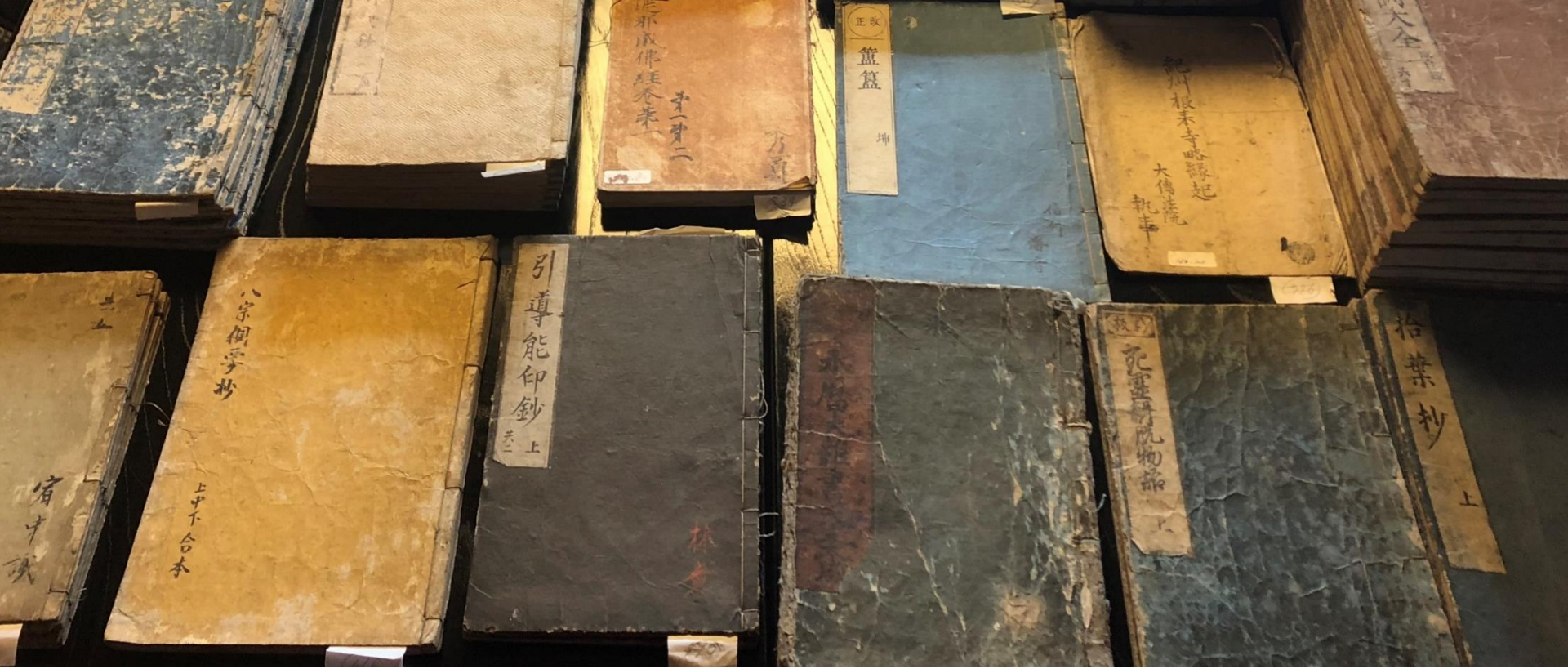
よく使うツール②

- **『密教大辞典』法蔵館（1931）**
  お坊さんの事績、密教の教義・流派などを調べる。
- **『仏書解説大辞典』大東出版社（1933）**
  書名・著者・成立年などの判断材料にする。
- **『くずし字用例辞典』普及版（1993）**
  くずし字の読解に用いる。
- **『歴史手帳』**
  元号や干支、西暦を調べる。

〈参考文献〉

・『佛法紹隆寺開創千二百年記念誌』（佛法紹隆寺、2006年）

・渡辺匡一「仏法紹隆寺覚え書き」（『内陸文化研究』3、2004年、
http://hdl.handle.net/10091/15288）
・　同　「地域寺院と資料学」（『中世文学研究は日本文化を解明できるか
中世文学会創設50周年記念シンポジウム「中世文学研究の過去・
現在・未来」の記録』中世文学会編、笠間書院 、2006年）
・　同　「真言宗以前―諏訪における鎌倉～南北朝期の寺院展開」
（『諏訪信仰の中世』三弥井書店、2015年）
・　同　「寺院資料調査と文学研究」（『仏教文学』42、仏教文学会、2017年、
http://hdl.handle.net/10091/00021117）
・　同　「寺社資料の電子化・共有による新たな研究の展望と課題」
（Code4Lib JAPAN Conference 2018、2018年9月2日
http://hdl.handle.net/10091/00020800）



次は、
目録作成です！

信大ナナちゃん